

○「図面作成、共同作業のあり方検討」

(京都府宮津市 上宮津地区連絡会議)(平成30年度第3回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化遊休農地の
発生防止・
解消新規参入の
促進その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年7月24日(水) 9:00～11:00
- 場 所: 宮津市上宮津集会所
- 出席者: 関野委員、細見推進委員
※委員2人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)

2 地区の特徴、状況、課題

- 山田(7区)、喜多(5区)、今福(2区)で構成される地域
- 大江山から市街地にかけての宮津市の中でも大きな面積と耕地に恵まれている 農家数106戸
- 水稻が中心で、ブドウ・採種・コギクなどの栽培が行われている 耕地60.14ha



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 上宮津・喜多12区の取組の打合せ(次回の話し合いについて)
新たな事態; 70歳農家が病気のため今年の耕作が中途だができない(1.5ha)
来年、1戸が離農予定(ハウス4棟、70a／保全管理60a)
- 前回の話し合いを受けて
耕作者図面を作成、共同作業のあり方について検討案(作業受委託、営農組合、販路は地元買取優先)
投資は最低限に(乾燥調整施設等貸借で)
※現在の共同所有…草刈り機・溝切り機

4 活動結果

- 情報・意見交換 2 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援